

警報発令・災害時の児童の安全について(改定版)

豊橋市立汐田小学校

1 暴風警報・暴風雪警報・大雨警報・洪水警報が豊橋市（愛知県東三河南部）に発令されたとき

【「暴風警報・暴風雪警報」発令の場合】

＜登校前＞

- 「暴風警報・暴風雪警報」発令中は授業を行いません。
- 午前6時までに解除されたときは、平常どおり授業を行います。  
・いつもの時刻に集合して、通学団で登校します。
- 午前6時を過ぎても解除されない場合は、当日は休校です。

＜登校後＞

- 「暴風警報・暴風雪警報」が発令されたら、安全を確認し、通学団または、引き取りで下校します。  
・安全に配慮し、発令される前に下校することもあります。(引き渡しカードの記述にそって対応します。)
- ・すでに危険だと思われるときには、学校で待機します。
- ・通学団で下校させないでほしいときは、引き渡しカードへの記入、または事前に連絡帳で学校へ連絡してください。

【「大雨警報」「洪水警報」だけ、または両方同時に発令の場合】

＜登校前＞

警戒レベル3「高齢者等避難」

- ① 通学路の状況等によって臨時休校や授業の開始時刻を変更することがありますが、原則として平常通り授業を行います。
- ② 保護者が、お子様の身の安全を守る観点から登校を見合わせる判断をした場合は、学校にその旨を連絡してください。校長が合理的な理由と認めた場合、欠席扱いにはしません。

警戒レベル4「避難指示」

- ① 当日の午前6時までに解除されなければ、臨時休校とします。

＜登校後＞

警戒レベル3「高齢者等避難」

- ① 気象状況の変化や教育委員会からの通知によっては、途中で授業を切り上げることもありますが、原則として平常通り授業を続けます。
- ② 状況の悪化が見込まれると判断した時点で、直ちに授業を打ち切り、以下の避難行動に移行します。  
ア 「学校に留めおき(屋内安全確保)」「引き取り下校」「通学団下校」など、下校の方法についてメール配信でお知らせします。  
(引き渡しカードの記述にそって対応することを基本とします。)
- イ アに示す方法では都合が悪い場合、事前に連絡帳にて学校へ連絡してください。

警戒レベル4「避難指示」

- ① 直ちに授業を打ち切り、以下の避難行動に移行します。  
ア 「学校に留めおき(屋内安全確保)」「引き取り下校」など、下校の方法についてメール配信でお知らせします。
- イ アに示す方法では都合が悪い場合、事前に連絡帳にて学校へ連絡してください。

2 特別警報が発令されたとき

＜登校前＞

- ただちに命を守る行動をとり、登校させないでください。
- 特別警報解除後も、学校から連絡があるまでは、登校させないでください。  
・学校内や通学路等の安全を確認してから、eメッセージにてお知らせします。停電等でメールが受信できないような状態のときには、登校させないでください。

＜登校後＞

- ただちに授業を中止し、児童の身の安全を確保します。
- 児童を安全に下校させることができると判断し次第、引き取り下校を行います。

3 大地震（震度6以上）が発生したとき

＜在校中＞

- 児童の身の安全を確保します。
- 下校させる場合は、引き取り下校を行います。

＜学校再開について＞

- 学校からの指示を待ってください。(eメッセージにてお知らせします。)

4 南海トラフ地震 臨時情報発令時の対応

- 続報に注意しながら、通常どおり教育活動を続けます。
- 児童の命を守ることを最優先に、状況によっては授業、学校行事は中止し、引き取り下校を行います。
- 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、汐田校区は事前避難対象地域であるため、原則として一週間休校になります。

＜引き取り下校の場合＞

- ・運動場・2階オープンスペースに避難します。
- ・名簿等で確認のうえ引き渡しを行いますので、整然とできるように、ご協力ください。  
「△年□組☆☆☆の保護者(父、母、祖父母)です。」と、担当者にはっきりと伝えてください。
- ・児童は、引き取り者が来るまで学校で待っています。

《警報発令・災害時には、電話による連絡はさけてください》

- ・警報が発令されるおそれがある時に、引き渡しカードでの記載と違う下校方法を希望される場合には、連絡帳にてお知らせください。
- ・学校からの急な連絡はすべてeメッセージで行います。必ず登録してください。
- ・事情により登録できない場合は、事前に担任までお知らせください。

《もしも連絡通信手段が途絶えてしまったら》

- ・災害用伝言ダイヤル171を利用してください。
- ・eメール [shiota-e@toyohashi.ed.jp](mailto:shiota-e@toyohashi.ed.jp) に児童の名前、保護者の居場所等を記入して、送信してください。eメッセージは学校からの情報を配信するのみですが、eメールは保護者みなさんの様子を学校に知らせることができます。通信手段が途絶える前に送信されていれば、回復後すぐに学校で確認することができます。ただし、eメールは大災害のときだけ利用してください。